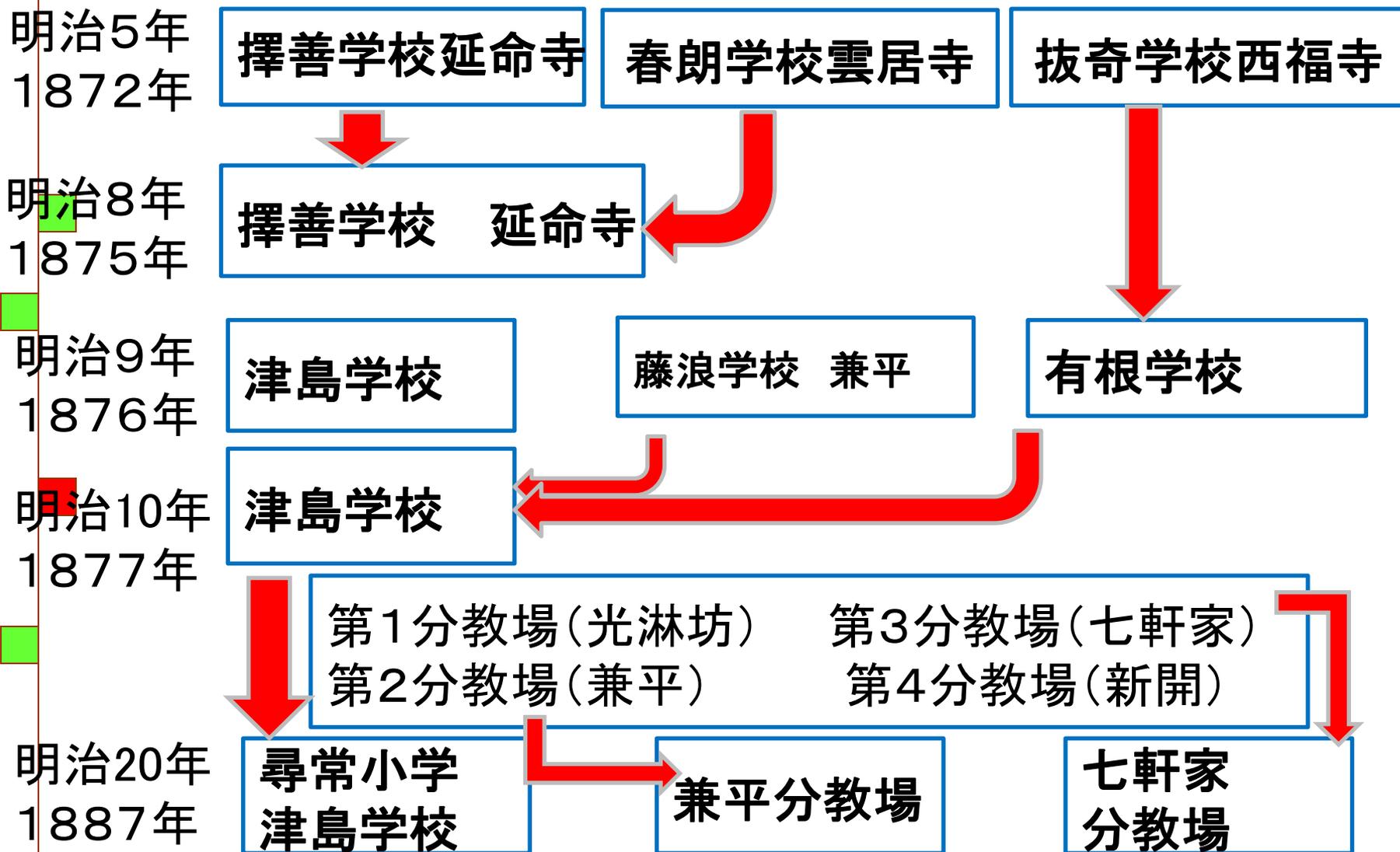


回答⑥【 】説明ちなみに南小の歴史



津島市立南小学校の歴史②

明治20年
1887年

尋常小学
津島学校

兼平分教場

七軒家
分教場

明治24年
1891年

濃尾大震災により、本校・分校の校舎が倒壊

明治25年
1892年

津島尋常小
学校

藤里尋常小
学校

有根尋常小
学校

明治39年
1906年

津島尋常小
学校

藤里尋常高
等小学校

大正元年
1912年

津島第一尋常小学校

津島尋常高等小学校

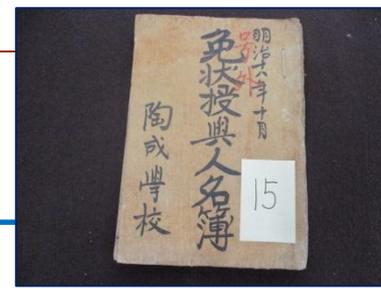
大正四年
1915年

津島第一尋常高等小学校



明治13年
1880年

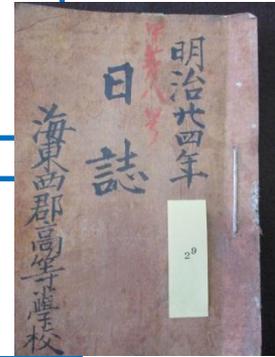
海東西郡共立陶成学校



明治20年
1887年

第一高等小学校

前ヶ須分校 第二 蟹江 第三 甚目寺



明治21年
1888年

海東西郡立高等小学校

蟹江分校 甚目寺分校 前ヶ須分校

明治26年
1893年

海東郡立三十九ヶ町村組合立津島高等小学校

明治36年
1903年

津島町外十二ヶ村組合立津島高等小学校

津島女子高等小学校 明治31年

明治40年
1907年

津島町外四ヶ村組合立津島高等小学校

明治42年
1909年

藤里尋常高等小学校

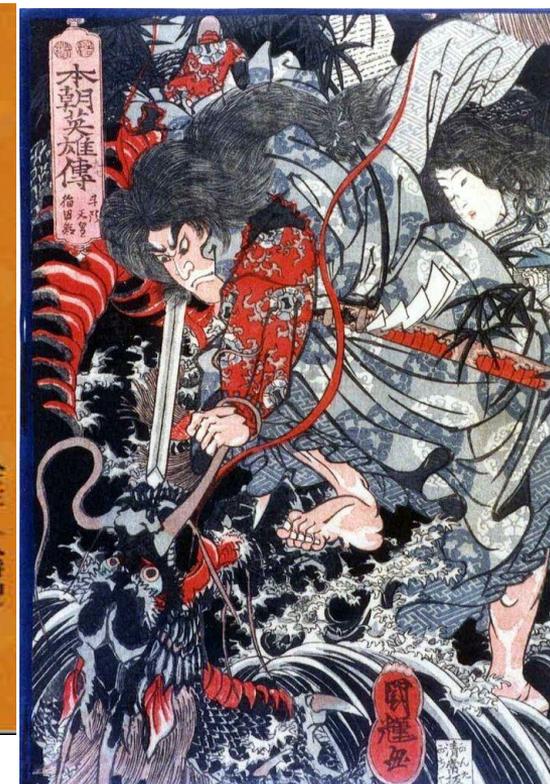
大正元年
1912年

津島尋常高等小学校

問⑦ 津島神社はかつて日本総社津島牛頭天王社と呼ばれた。○か×か。

回答⑦【 】 日本総社・津島牛頭天王社

答えは【 】津島神社は欽明天皇元年（540年）に壱岐対馬より、建速須佐之男命が来臨したのが起源。当時は「津島社」その後神仏習合による天王信仰が広まり江戸時代まで「日本総社」「津島牛頭天王社」と呼ばれ、約3,000の分社をもつ。明治の神仏分離後は「津島神社」と改称し、大正15年から国幣小社。



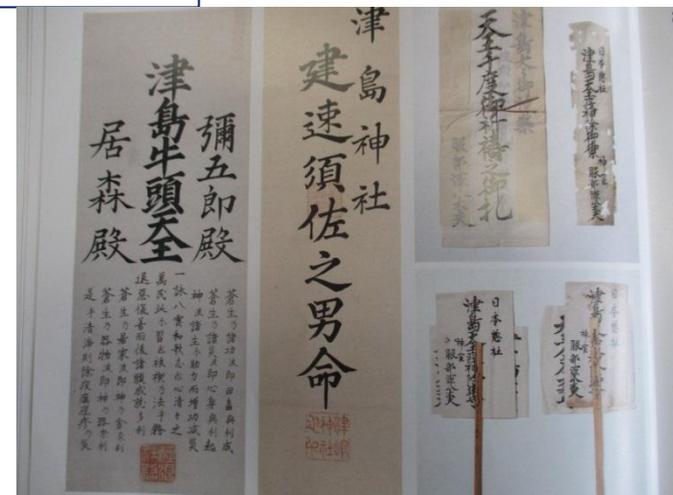
問⑧牛頭天王は素戔嗚尊になった？○か×か。

回答⑧【 】素戔嗚尊＝牛頭天王は同一神

神(垂迹)

仏(本地)

天照大神	大日如来・観音菩薩
素戔嗚尊	牛頭天王
大国主命	大黒天
東照大権現・大山咋神お おやまくい(日吉・松尾)	薬師如来
市杵島姫命	弁財天
いちきしまひめ	
八幡神・熊野権現	阿弥陀如来
愛宕権現	地藏菩薩



◎蘇民将来伝説 茅の輪によって疫病を退散

旅人(牛頭天王・武塔神)を手厚くもてなした貧乏な兄(蘇民将来)は茅の輪によって幸せとなり、粗末に扱った金持ちの弟(巨旦将来)は命を失うこととなった民間信仰の伝説。

問⑨ 牛頭天王信仰を広めた人々を津島御師と言った。○か×か。

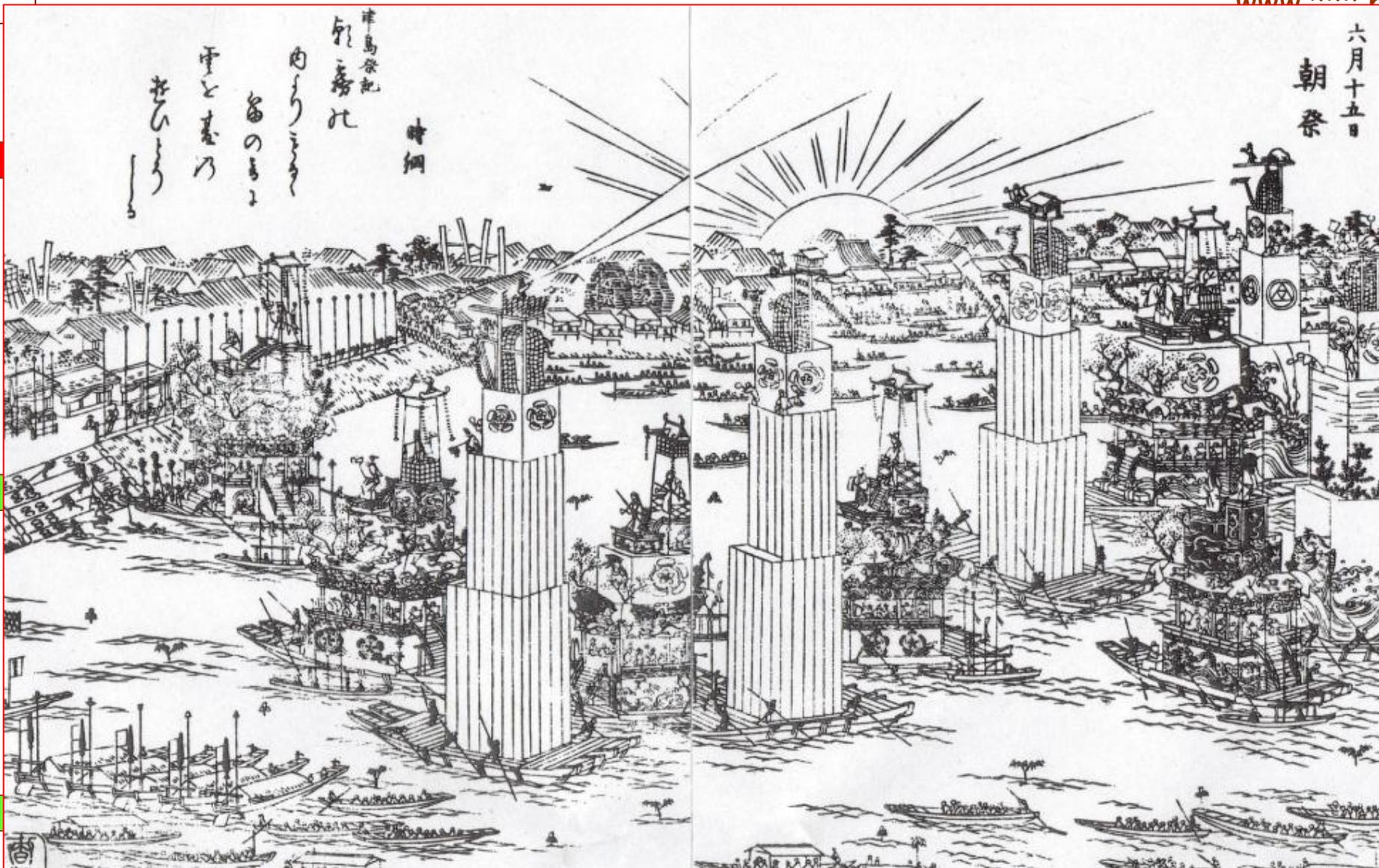


問⑨ 回答【 】

御師は津島牛頭天王社の御札を配るとともに、津島へお詣りにきた人たちの世話。今でいうと旅行案内と旅館の役割。この御師により津島牛頭天王信仰が広がる。氷室作太夫家住居（片町・津島市指定文化財）は全国的に珍しい御師の家で、牛頭天王に奉納する神楽舞の式台が残り、当時の様子を伝える建物。ちなみに伊勢御師（おんし）桑名市太夫町に住む。

問⑩ 江戸時代、朝祭の舟の数は少ない。○か×か。

六月十五日
朝祭



回答【 】大山舟は舟2艘をつないで1艘に仕立てたもの。船の上に3段の山を積み、高さは20^{メートル}。一番上ではからくり人形。